

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									3.3		
Q-1 室内環境							0.40		3.9		
1 音環境							2.2	0.15	3.3	1.00	3.0
1.1 騒音							3.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策							-	-	-	-	
1.2 遮音							1.0	0.40	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能							1.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音							3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境							3.0	0.35	5.0	1.00	4.5
2.1 室温制御							3.0	1.00	5.0	1.00	
1 室温設定							-	-	-	-	
2 換気・加湿・除湿制御性							-	-	-	-	
3 外皮性能					W		3.0	1.00	5.0	1.00	
4 ゾーン別制御性							-	-	-	-	
5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
6 個別制御							-	-	-	-	
7 時差外空室に対する配慮							-	-	-	-	
8 監視システム							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							-	-	-	-	
2.3 空調方式							-	-	-	-	
3 光・視環境							3.5	0.25	3.8	1.00	3.7
3.1 昼光利用							4.2	0.43	4.6	0.50	
1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口							-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							-	-	3.0	0.50	
1 曇りガラスのガラス							-	-	-	-	
2 昼光制御					W		-	-	3.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.21	-	-	
1 照度							3.0	1.00	-	-	
2 照度対策							-	-	-	-	
3.4 照明制御							3.0	0.36	-	-	
4 空気環境							4.2	0.25	3.6	1.00	3.7
4.1 発生源対策							5.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学物質汚染							5.0	1.00	4.0	1.00	
2 化学物質対策							-	-	-	-	
3 デニ・カビ等							-	-	-	-	
4 レジオネラ菌							-	-	-	-	
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画							-	-	-	-	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視							-	-	-	-	
2 喫煙の制御							3.0	-	-	-	
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	3.2
1 機能性							3.4	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性							-	-	4.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応							3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画							-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性							4.0	0.40	3.5	0.40	
1 広さ感・景観							-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-	-	-	-	
3 内装計画							4.0	1.00	4.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-	
1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.1	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		4.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新							-	-	-	-	
1 床・壁・屋根・外壁仕上げ材の更新							-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新							-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新							-	-	-	-	
2.4 信頼性							2.8	0.19	-	-	
1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-	-	
3 電気設備							3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備							4.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	W	G	S						
3 対応性・更新性					3.1	0.29	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり				階高2900以上としている。 構造材を痛めることなく、配管の更新が可能としている。	3.0	0.17	2.8	0.50	
1 階高のゆとり					4.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					4.0	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					4.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.1	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性				4.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能表示基準の省エネルギー対策等級4を満たしている	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20	-	-	2.5
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			照明設備は一部に室検知制御を用いている。	3.3	0.40	-	-	3.3
4 効率的運用					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	-
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.2	0.85	-	-	3.2
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切、吹付ウレタン断熱材等分別が比較的容易な材料を使	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W				-	-	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.5
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制					2.3	0.10	-	-	2.3
3.1 風害の抑制					2.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェック項目の一部を満たしている。	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.3	0.40	-	-	3.3
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制			S	十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		3,306 m2	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの ERRIによる評価 高効率化 個別設備による評価	3.3	-	-	-	3.3
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	3.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-